

## 災害等情報（詳報）

鉱種：けい石	鉱山の所在地：埼玉県					
災害等の種類： 坑外・火災	発生日時： 平成29年4月25日（火） 13時55分頃	罹災者数	死	重	軽	計
			－	－	－	0
罹災者 年齢、職種、直轄・請負の別、勤続年数、担当職経験年数： 罹災者なし						
罹災程度：－						
<p><b>【概要】</b></p> <p>砵鉱場乾燥サイロの解体作業のため、請負業者作業員（常時、修理等の作業実施）2名は、直轄作業員への連絡を行わずに13時より準備作業を開始した。</p> <p>当該施設の積込口付近にある庇（ひさし：防風用鋼板製波板）の取付け部のボルトを外すため、インパクトレンチ（電動式のレンチ）を用いて作業を行っていたが、錆び付きが酷く、固着したボルトが有ったため、ガス溶接機を用いてボルトを溶断することとした。</p> <p>13時55分頃、溶断により赤く熱せられたボルトのヘッド部及びナット部数個が、地面に落下した。落下した地面には、枯れ草があり、当該ボルトのヘッド部から枯れ草が炎上、さらに、付近の雑木林に延焼した。</p> <p>枯れ草の炎上に気づいた作業員2名は、消火器の位置が解らず、また、直轄への連絡手段が携帯電話のみで焦りと動揺により連絡先を失念し、連絡が取れず、消火器を探し回った。</p> <p>付近で別の作業を行っていた直轄の職場長が火災に気づき、消火器を用いて初期消火を行ったものの、当時風が強く吹いていたことから消火することができず、14時11分消防へ通報を行った。</p> <p>14時15分に到着した消防により消火が行われ、15時28分鎮火した。</p> <p>なお、溶断作業にあたり、消火器を準備せず、消火器の設置位置の確認も行っていなかった。また、防護シート（通称：溶接シート）の敷設も行わず、作業場所の高さが4mであるにも関わらず、作業者は安全帯を使用していなかった。</p> <p>延焼範囲は、鉱山内林地の法面（幅約10m×高さ約30m、面積約300㎡）に及んだ。</p>						
<p><b>【原因】</b></p> <p>直接的な原因としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ガス溶断作業時において溶断層による火災の想定をしていなかったため、防護シートの敷設等の火災予防措置を行っていなかった。</li> <li>○直轄においては、請負作業の実施について把握を行っておらず、保安対策の実施状況の確認を行っていなかった。</li> <li>○作業手順書の遵守状況を管理する体制が不十分であった。</li> </ul>						

- 消火器の設置箇所の周知が不十分であった。
  - 火災発生時における連絡体制が不十分であった。
- 災害に直接関係はないが、鉦山側にて調査した結果、
- 作業高さ 4 m であるにも関わらず、作業員 2 名は、安全帯を使用していなかった。

**【対策】**

- 作業手順書（ガス溶接・溶断作業時における消火器の準備）の再教育及びその教育方法の見直し。
- 保安統括者等の管理側による現場把握、保安規程及び作業手順書の遵守状況確認の徹底。
- 消火器設置箇所の周知。
- 非常時における連絡方法及び体制の見直し。

**【参考情報等】**

- ガス溶接機を用いて作業する場合は、火災予防上必要な措置を講じましょう。
  - 鉦山において定めた作業方法及び手順を鉦山労働者に周知しましょう。
  - 鉦山において定めた作業方法及び手順は遵守しましょう。
  - 鉦山において定めた保安規程は遵守しましょう。
  - 鉦山労働者に対する保安教育の程度を検証し、効果的な保安教育を実施しましょう。
  - 火災を防止するため、消火栓、消火器、消火用砂その他の消火設備は、適切に設けましょう。
  - 作業高さが 2 m 以上の箇所で作業を行う場合は、足場の確保を行い、安全帯を使用しましょう。
- 鉦山保安法令及び関係法令における参考規定は以下のとおりです。
- <鉦山保安法令>
- ・保安規程（鉦山保安法第 21 条）
  - ・機械、器具及び工作物の使用（鉦山保安法施行規則第 12 条・鉦業権者が講ずべき措置事例第 10 章）
  - ・火気の取扱い（鉦山保安法施行規則第 15 条）
  - ・鉦山労働者が守るべき事項（鉦山保安法施行規則第 27 条・鉦業権者が講ずべき措置事例第 13 章）
- <消防法令>
- ・応急消火義務等（消防法第 25 条）
- <労働安全衛生法令>
- ・火気使用場所の火災防止（労働安全衛生法施行規則第 291 条）

**【お問い合わせ先】**

関東東北産業保安監督部 鉦山保安課 平田、駒木根  
電話番号：048-600-0437

図1 災害発生箇所

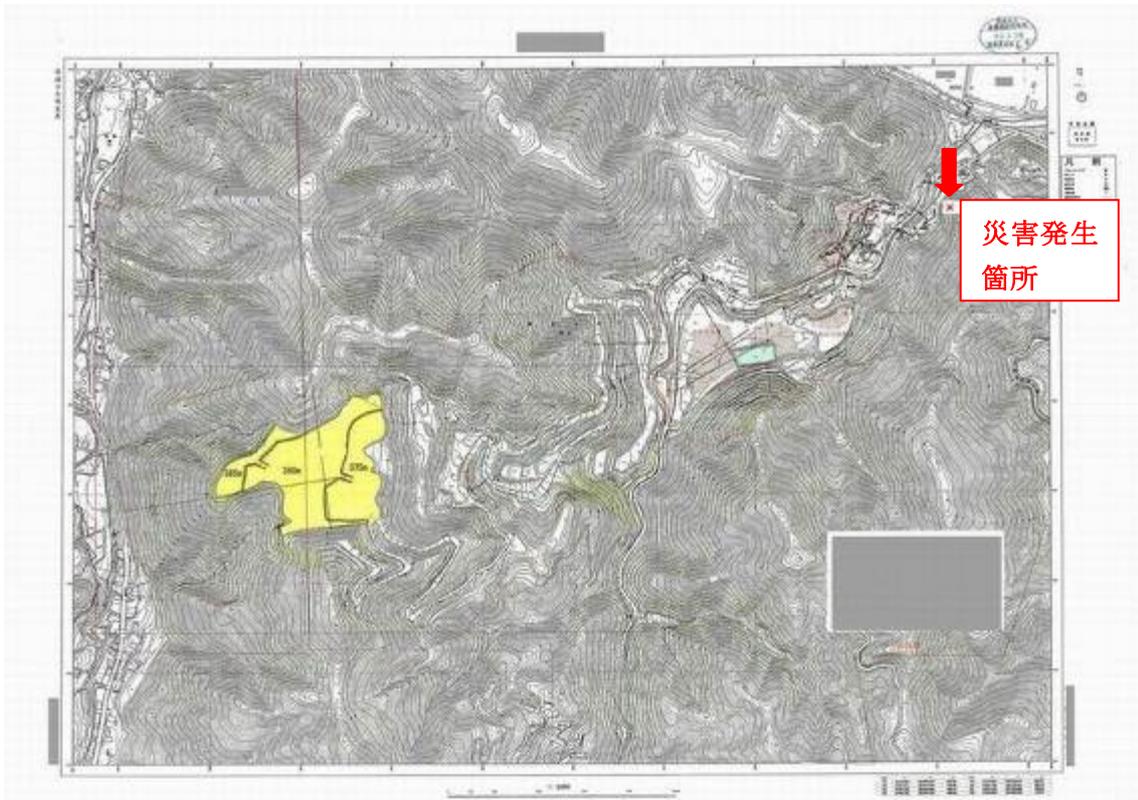


図2 災害発生箇所（拡大図）



写真1 災害発生箇所の状況 (□が延焼箇所)



写真2 災害発生箇所の状況 (□が延焼箇所)

